

BELLSYSTEM24[®]

2021年2月期 第2四半期

決算短信補足説明資料

(2020年10月7日)

イノベーションとコミュニケーションで
社会の豊かさを支える

株式会社ベルシステム24ホールディングス

継続業務ではコロナ禍で新規案件の遅れがある一方、大型スポット業務により増収増益を達成。

連結業績

売上収益	669億円	前年同期比	+6.1%
営業利益	66億円	前年同期比	+12.6%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	43億円	前年同期比	+14.7%



新型コロナウイルス関連のスポット業務の受注による売上収益の増



退職率の低下等に伴うコスト抑制

通期見通しに対して、売上収益、利益ともに順調に進捗。

(百万円)

	2020年2月期 2Q	2021年2月期 2Q	対前年 同期増減額	同左 増減率	通期見通し	進捗率
売上収益	63,036	66,871	+ 3,835	+6.1%	132,000	50.7%
CRM事業	62,160	66,269	+ 4,109	+6.6%	—	—
継続業務	57,057	59,010	+ 1,953	+3.4%	—	—
スポット業務	5,103	7,259	+ 2,156	+42.2%	—	—
その他の事業	876	602	△274	△31.3%	—	—
営業利益	5,880	6,623	+ 743	+12.6%	11,500	57.6%
CRM事業	5,831	6,493	+ 662	+11.4%	—	—
その他の事業	49	130	+ 81	+165.3%	—	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,707	4,250	+ 543	+14.7%	7,200	59.0%

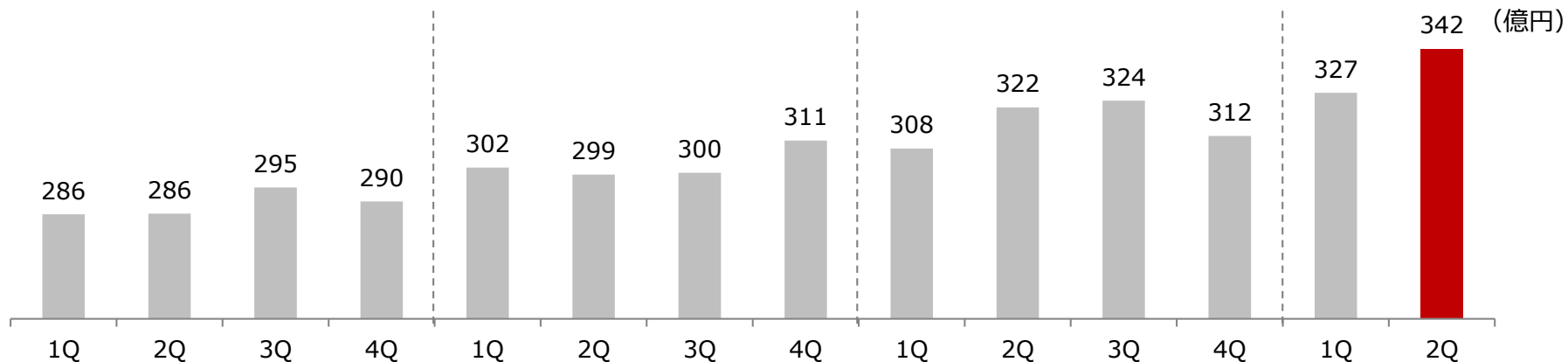
2018年2月期

2019年2月期

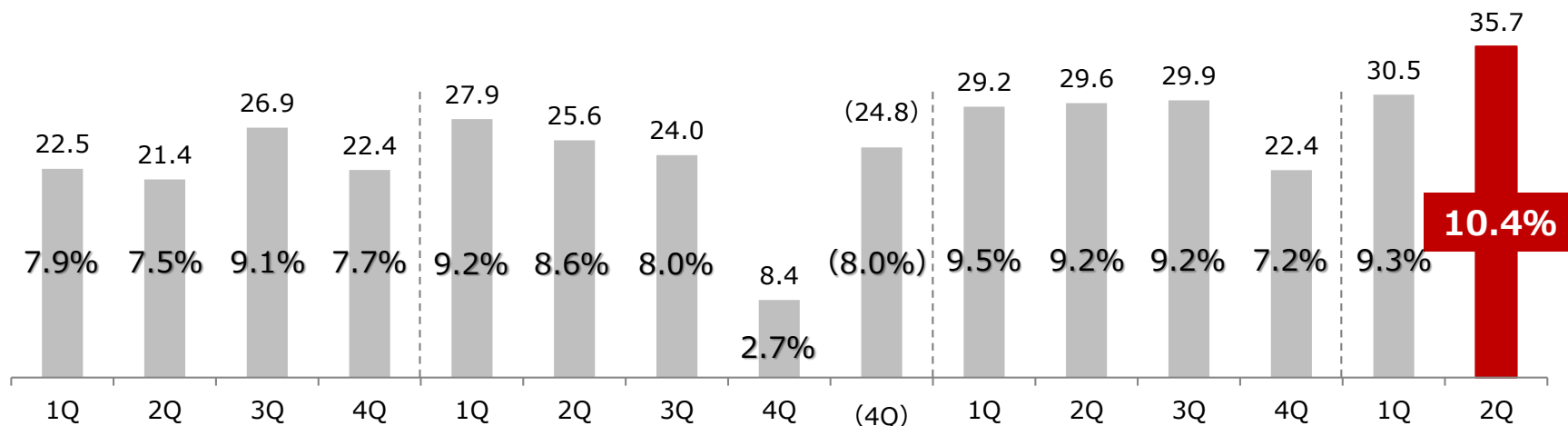
2020年2月期

2021年2月期

売上収益

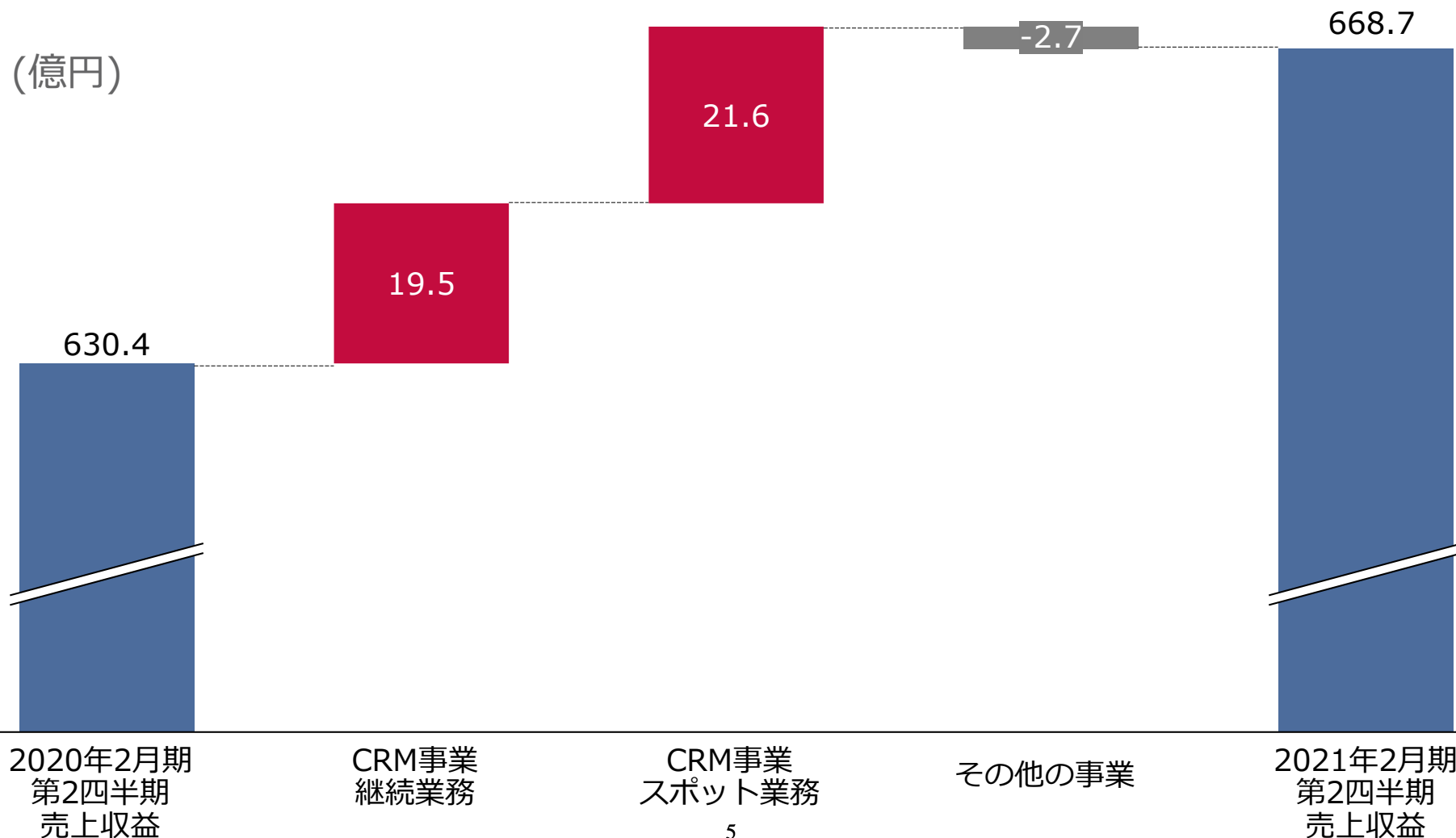


営業利益
営業利益率



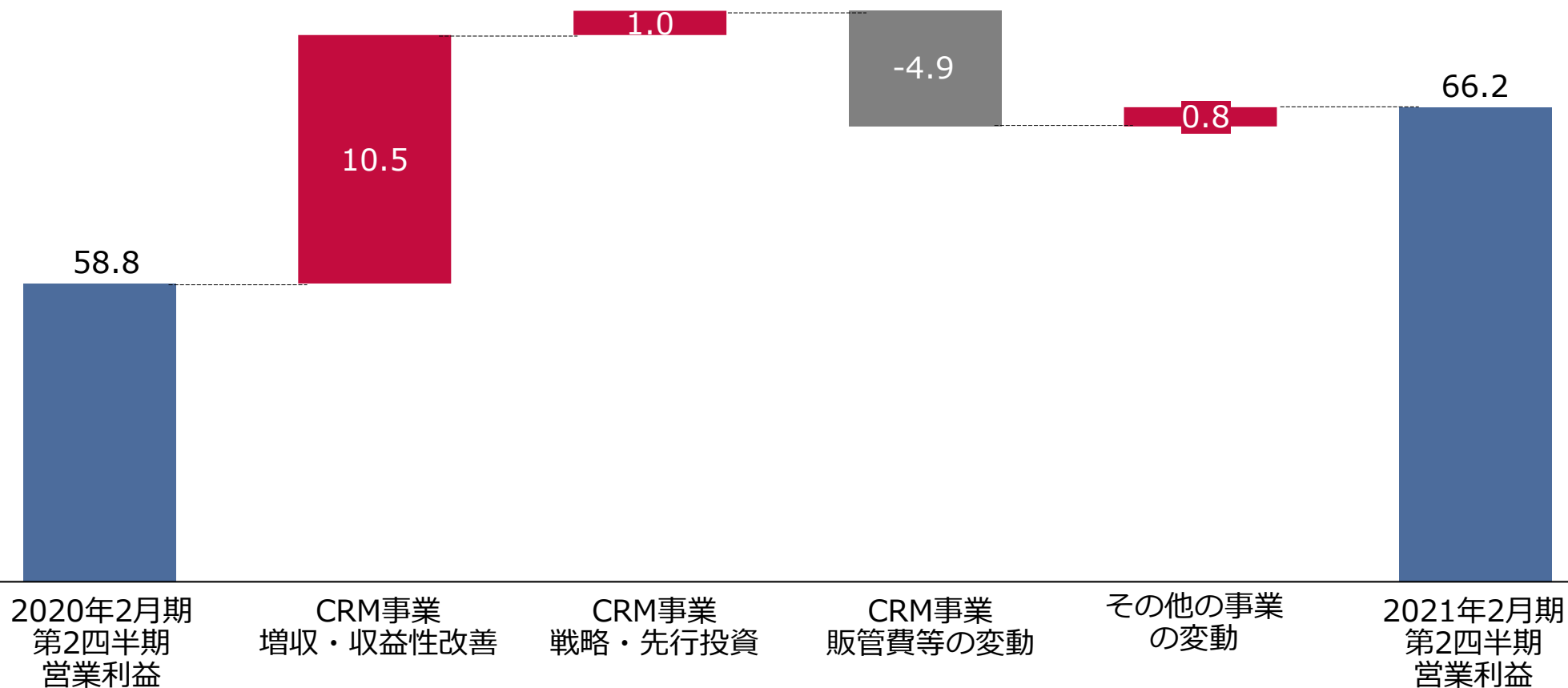
医薬関連事業
再編の影響除く

新規業務の遅れにより継続業務の伸びは限定的なるも、スポット業務の伸びにより大幅増収。



新型コロナ対策費用等も加わり経費は増加するも、増収効果により利益は伸長。

(億円)



キャッシュ・フロー

(百万円)

	2020年2月期 2Q実績 (累計)	2021年2月期 2Q実績 (累計)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,053	6,664
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,015	▲1,742
(フリー・キャッシュ・フロー)	(7,038)	(4,922)
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲5,023	▲5,139

財政状態

(百万円)

	2020年2月末	2020年8月末	増減
総資産	168,508	172,252	+3,744
のれん	96,250	96,250	±0
ネット有利子負債	60,411	59,818	△593
親会社の所有者に帰属する持分	49,168	51,766	+2,598
資本比率	29.2%	30.1%	+0.9pt
NET DER	1.23倍	1.16倍	0.07減少
ROE	14.8%	—	—

【配当政策の基本方針】

当社は、株主に対する利益還元を最重要課題の一つとして認識しており、剰余金の配当を安定かつ継続的に実施し、業績の進捗状況に応じて配当性向及び必要な内部留保の充実等を総合的に勘案した上で、中期的には親会社の所有者に帰属する当期利益をベースに、連結配当性向50%を目標として、中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本的な方針としております。

	1株当たり配当金（円）			配当性向（%）
	中間	期末	合計	
2021年2月期（予想）	21.00	21.00	42.00	42.9%
2020年2月期	21.00	21.00	42.00	44.1%
2019年2月期	18.00	18.00	36.00	49.1%

我々の使命

イノベーションとコミュニケーションで
社会の豊かさを支える

我々の行動理念

我々は一人ひとりが常に新たな挑戦を続け、
楽しく、安心して働ける、人に優しい職場（コミュニティー）を作ります。

我々は企業としての社会的責任を果たし、
持続的で健全な成長を目指します。

我々が作り出した価値を社会に還元し、
美しい未来づくりに貢献します。

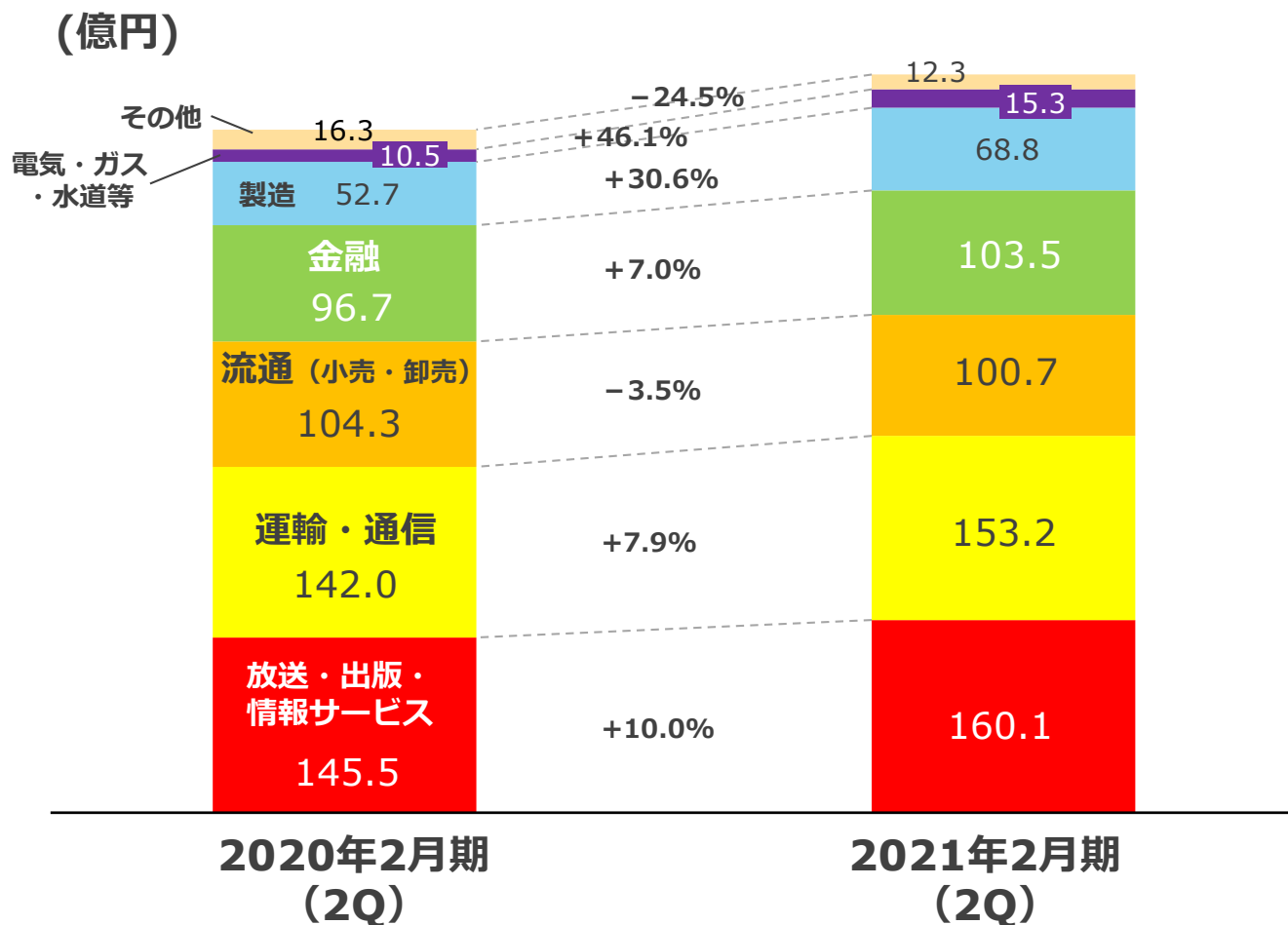
ご注意

本説明および参考資料の内容には、将来の当社業績に関する見通しが含まれていますが、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断にもとづくものであり、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、これら業績に関する見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。

Appendix

情報サービスおよび製造において売上収益が大きく伸長。

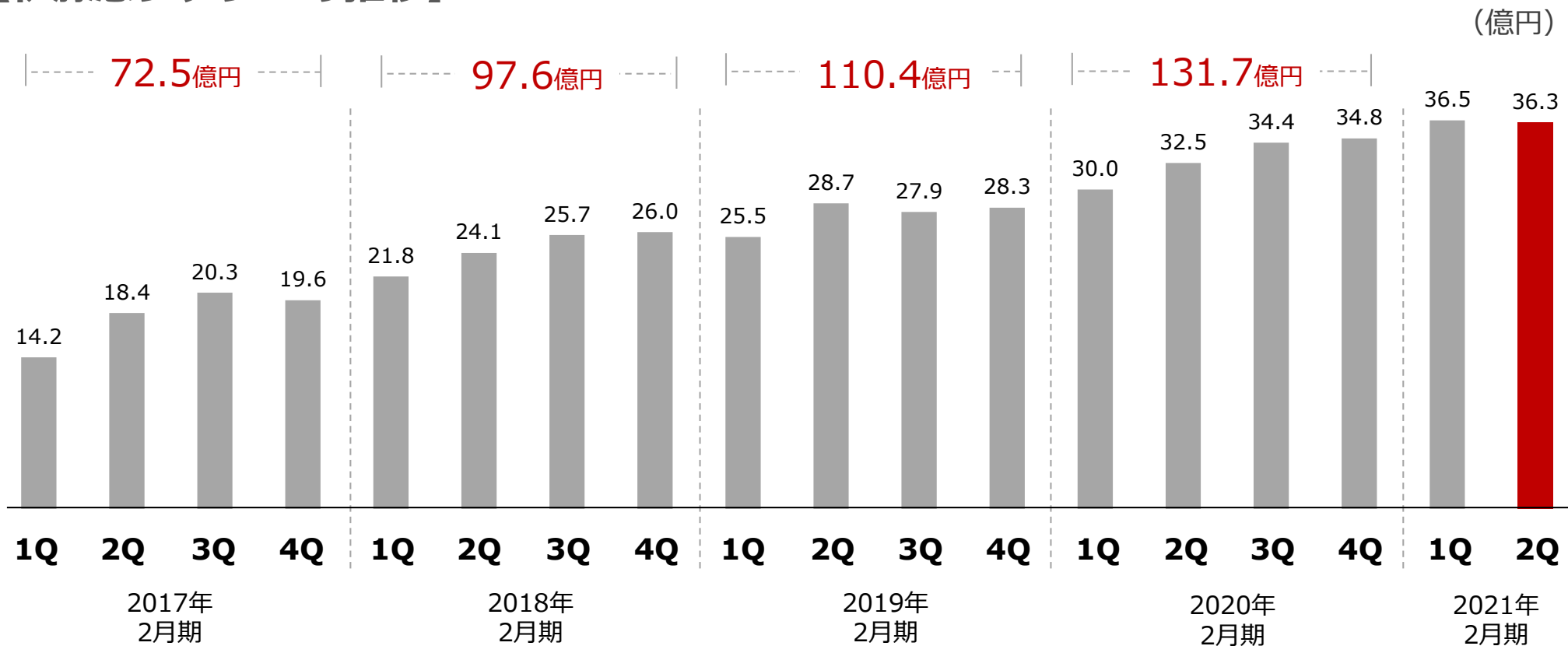
業種別売上収益※の推移
(2020年2月期 2Q vs 2021年2月期 2Q)



伊藤忠シナジーは前年同期比累計で+10.3億円、+16.5%増加。(スポット業務を含む)



【伊藤忠シナジーの推移】



ソニーコンピュータサイエンス研究所と、「イノベーション&コミュニケーションサイエンス研究所」を設立し、独自開発AIによるコンタクトセンターに特化したサービスの提供を開始

ベルシステム24のコンタクトセンターの現場における業務フローの知見と、ソニーCSLのAI研究の知見を組み合わせ、共同で独自のAIソリューションを開発。両社の強みやノウハウを活用し、コンタクトセンター運用における業務効率向上やコミュニケーターの負担軽減、顧客の利便性向上を目指す。

ベルシステム24、ボイスボットのエン트리モデル「ekubot™（エクボット）」を提供開始

コミュニケーターによる電話対応が必要なコンタクトセンター混雑時の一次受付や資料請求・予約受付など定型的な受付業務を、自動音声で応答できるボイスボットのエン트리モデル「ekubot」を提供開始。



伊藤忠グループのエイツーヘルスケアと連携し、ニューノーマル時代の新たな製薬企業向けアウトソーシングサービス提供における協力体制を強化

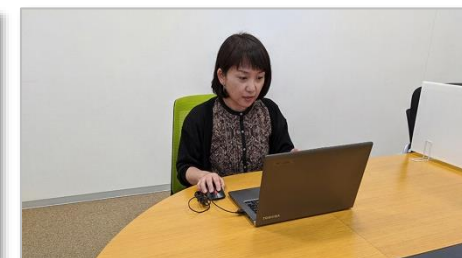
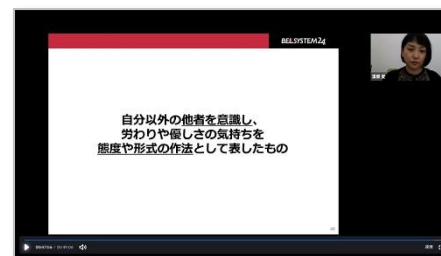
新たな製薬企業向けサービスの提供を目的に、医薬品・医療機器等の臨床開発・販売支援サービス事業に関し、グループ企業間における協業の取り組み強化を開始。医薬品・医療機器等の臨床試験や製造販売後調査等のサービスフローをワンストップで完結できるアウトソーシングサービスを提供。



The Life First Company

ベルシステム24、島根大学による「大学生の就職とキャリア」授業に4年連続で参画

国立大学法人島根大学が行う「大学生の就職とキャリア」に4年連続で参画。新型コロナウイルス感染防止のためオンライン形式にて、約70名に対し、「働くための基礎知識」として「ビジネスマナー」について講義。



沖縄エリア初、ミカフェートプロデュースの「障がい者の運営によるカフェ」をコールセンター内に開設

コーヒーを通じたSDGsの実現を進める株式会社ミカフェートのプロデュースにより、東京、札幌に続き3ヶ所目となる「障がい者の運営によるカフェ」を沖縄拠点のコールセンター内に開設。

